



教育行政執行方針（要旨）



妹背牛町教育委員会 教育長

廣澤 勉

はじめに

現代は、少子化、人口減少や高齢化、国際情勢の不安定化、グローバル化・地球規模の課題などをはじめとする、変動性・不確実性・複雑性など、将来の予測が困難な時代を迎えております。

こうした急激な社会の変化が生じる時代にあつては、起りうる諸問題に柔軟に対応し、先見性をもって創造性豊かに困難に立ち向かうことのできる強い人材の育成が求められています。

また、「人生100年時代」といわれる中、町民一人ひとりが豊かな人生を送ることができるよう、また、持続可能な社会の創り手となる子どもたちを育むよう、多様な学習機会の提供を確保する必要がありますことから、学校教育及び社会教育の果たす役割は、これまで以上に重要となります。

教育委員会としましては、関係機関はもとより、学校・家庭・地域と、より一層連携を図り、教育環境の充実と向上に努め、教育行政の執行に全力で取り組んでまいります。

学校教育の充実

子どもたちがこれからの時代を生き抜く力を育成するため、一人ひとりの可能性を広げられるように授業改善に努め、知識・技能の確実な定着はもとより、「思考力・判断力・表現力」や「主体的に学習に取り組む態度」の育成を重視した学習の充実を図ってまいります。

確かな学力の育成

小学校では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、未来を見据えた授業づくりを実践してまいります。中学校では、日常授業の強化を図り、学力向上に関わるテストと調査結果を根拠に成果と課題を確実に捉え、具体策をもって改善に取り組んでまいります。

健やかな身体の育成

子どもたちの健やかな身体を育成するため、各学校においては、子どもたち個々の生活実態の把握に努め、家庭との共通認識のもと、望ましい生活習慣の確立の一助となるよう、「新体力テスト」や「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の調査分析に基づき、運動習慣の確立や体力向上の推進を図ってまいります。

豊かな心の育成

小学校では、児童の発達段階や特性等を踏まえ、主体性や自律性、生命の尊厳、他者を思いやる心の育成をしてまいります。また、金融リテラシー教育など、

中学校では、道徳の授業を要とし、正しい判断と強い意志で行動する生徒を育成してまいります。いじめに関しては、報告・連絡

信頼される学校づくり

子どもたちが自ら考え判断し、未来を担うたくましい人材へと育成するためには、社会の変化に対応した教育環境の整備と、地域の声を生かした学校経営を進めることが重要であります。そのため、学校に対する理解が深

特別支援教育・

通級指導の充実

社会的な自立や社会参加につながる「生きる力」を養うため、子どもたち一人ひとりの教育的ニーズに応じた個別指導計画・指導法を推進してまいります。

さらには、増加傾向にある困り感を抱える児童生徒に対する通級指導教室の役割もますます重要になっていくため、学校全体で組織的な指導体制の工夫・充実に努めてまいります。

働き方改革の推進

学校における働き方改革については、教員が健康でやりがいをもって働き、授業やその準備に集中できる時間や児童生徒と向き合う時間を確保しつつ、教員の負担を減らすことが求められていることから、その取り組みを推進してまいります。

社会教育の充実

町民一人ひとりの自主的な学習や町民相互の学習活動・

地域活動は、地域の連帯や教育力を高め、豊かな暮らしを支える基盤となるものです。

多くの町民が参加できる多様な学習機会などの各種事業を推進し、本年度は、子どもたちに対する学校以外での学習支援を行うほか、既存事業の精選や町民のニーズに対応した新規事業の立案にも積極

的に取り組んでまいります。

「コミュニティ・スクール」

に関しては、地域の声を積極的に生かし、学校運営に関して地域で担えることがないかを検証するなど、支援可能な人材発掘をはじめとする地域の教育力の活用についても協議し、地域と一体となって特色ある学校づくりを目指してまいります。

公設民営塾の設置

事前アンケートで設置の要望が多かった公設民営塾に関しては、子どもたちの早い段階での基礎学力向上と学習習慣の定着を図るため、

現行の放課後学習のあり方を見直した上で実施します。

現状では、指導できる人材の確保が困難なため、自治体と民間学習塾が連携して「1人1台タブレット」を有効活用し、動画配信を中心と

した学習支援に取り組むことにより、将来を見据えた継続的な学習支援が可能となります。

本年度はまず、小学校の4年生以上を対象にスタートする考えですが、今後は中学生をはじめ、不登校や登校渋りの児童生徒に対する支援なども視野に入れた発展的な取り組みを推進します。

教育行政の課題

・小中一貫教育導入に向けて

校舎の老朽化や児童生徒数の減少などの課題に対応するためには、「小中一貫教育の導入」及び「義務教育学校の設置」が必要不可欠です。

校舎建設については、財政的な理由から実施時期が令和12年度からはじまる「第10次妹背牛町総合振興計画」へと先送りされましたが、学校・家庭・地域・行政が共通認識を持つことが重要であり、将来を見通した

・中学校部活動の地域移行について

本町教育の「基本構想・基本計画」を策定する必要があります。

まずは、本年度から「小中一貫教育」に向けた取り組みをスタートさせ、積極的に調査・研究を行い、さらには事業推進のための体制づくりとして、コーディネーターの設置も検討しつつ、将来の「義務教育学校設置」実現へ向けて着実に前進を図ってまいります。

北空知圏域での協働により、子どもたちがスポーツや文化芸術に親しみ続けられる環境をつくることを目指し、北空知圏域全体として地域住民や保護者の協力を得ながら協議・検討を進めてまいります。

分野	事業名	内容
社会教育事業	「赤ちゃんふれ愛ブック」 「ブックスタート」	幼少期から絵本にふれてもらうことで、子どもの感受性を育む支援をします。
	「ぼくたちわたしたち体験隊」 「チャレンジワールド」	非日常の体験を通して、子どもたちの感性を刺激し、忍耐力・協調性・自立性を養うための学習機会を提供します。
	「国際文化ふれあい事業」	全町民を対象に、外国の方と楽しみながら異文化にふれることで、国際交流を促進します。
	「親子でチャレンジ」	休日に親子で参加できる体験場面を提供し、交流を通じて相互親睦を深めてまいります。
芸術文化事業	芸術鑑賞会	学校で演目・劇団を選定し、町民も含めた中で豊かな心を養う芸術を鑑賞できる機会を提供します。
	「タッチ・ザ・アート」	本物の芸術にふれる機会や趣味活動の枠を広げる学習機会を提供します。
	「文化講演会」	普段聞くことのできない様々な分野で活躍されている方を講師に招き、講演会を開催します。
社会体育事業	「のびのびスイミングスクール」	小学生を対象に、夏休み中に基礎体力の向上を目指します。
	「足腰鍛え隊」「町民登山」	景観を楽しみながら健康増進を図る場を提供します。
	「Let'sスポーツ」	全年齢を対象に身近なスポーツに慣れ親しみ、体力づくりと健康増進の一助となる機会を提供します。
	「親子カーリング教室」	北空知を対象に広く参加を募集。妹背牛町応援大使の女子カーリングチーム「フォルティウス」のメンバーと一緒にカーリングの楽しさや魅力を知ってもらう行事を企画しています。